

(3) レベル2 (3桁+3桁)

①~⑥の6枚のカードを使って、答えが一番大きくなるようなたし算の筆算を作る。

<ルール>

◎①~⑥の数字を1回ずつ使う。

◎筆算シートの上で、カードをいろいろに並び替えて筆算を作る。みつけた筆算は、ノートに記入する。

手順はレベル1と同じ。ノートに計算して大きな数が見つかったら、となり同士で伝え合う。一緒に確かめの計算をして、大きかった方の答えを黒板に書きにくる。自分が一番だと思っても、それより大きな答えがでると、さらに別の筆算を見つけようと意欲が高まる。

①一番大きな数は、1173であることを導き、みつけた式を発表しあう。

②レベル1で気づいたことをもとに、百の位に大きな数を入れることやたす数とたされる数を入れ替えると、いろいろな式ができることを確認する。

※みつけた筆算・・・ $642 + 531$ $632 + 541$
 $641 + 532$ $631 + 542$
(4つとも、たす数とたされる数をいれかえた式も)



ペアで伝え合う

(4) レベル3 (3桁+3桁=3桁)

3位数の筆算のシート9つの四角の中に、①~⑨の9枚のカードをすべて使って完成する筆算を考える。

難しい場合は、一部数字を入れておいて挑戦させていく。

※筆算の例・・・

$$\begin{array}{r} 327 \\ + 618 \\ \hline 945 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 725 \\ + 139 \\ \hline 864 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 219 \\ + 348 \\ \hline 567 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 129 \\ + 357 \\ \hline 486 \end{array}$$

3 学習上の留意点

- ・たし算の筆算の学習が終わった後、学習の発展として行う。
- ・カードを使い操作した後、計算をノートに書いて確かめていく。
- ・レベル3は、100個以上できることを知らせると興味が増す。

4 学習の効果

- ・操作活動を取り入れることで、ドリル的に計算練習するよりも楽しく学ぶことができる。
- ・レベル3の学習は3年生では難しいが、数の面白さや不思議さを感じることができ、知的な好奇心をかきたてることとしては効果がある。